



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.47 (2013.10.23)



IOC総会プレゼンテーションから学べること

9月8日、2020年のオリンピック開催地が東京に決定しました。その後、IOC国際オリンピック委員会の総会で行われた、東京招致委員会のメンバーによるプレゼンテーションが繰り返し報道されましたが、どのプレゼンテーションもとても印象的でした。英語だけではなくフランス語のプレゼンテーションもあり、また、英語のプレゼンテーションも英語上級者によるものばかりではありませんでした。この機会に、フランス語プレゼンテーションの背景や効果的なプレゼンテーションをするポイントについて、お二人の先生に解説していただきました。

目次：

IOC 総会プレゼンテーションから学べること	
国際学部 ルディムナ・クリスチャン先生	
名誉教授 Carol RINNERT 先生	1
ミニコラム：情報科学部長 矢野卓雄先生	2
知のトリアス映画上映会	2
バスに乗られてスバラしき	
名誉教授 大井健地先生	3
TOEFL 勉強法・留学生生活	
国際学部 今井菜奈さん	4
市大英語 eラーニング講座報告他	4



フランス語プレゼンテーション？ もちろん理由があります

国際学部教授
ルディムナ・クリスチャン

東京が2020年オリンピック開催都市に選ばれました！

国際オリンピック委員会の総会で、その東京がプレゼンテーションを行いました。その中で、高円宮妃久子さまが格調の高い、気品あふれるフランス語でご挨拶をされました。また、アナウンサーの滝川クリステルさんがフランス語で「おもてなし」の心をアピールし、IOC委員会に東京招致を訴えました。その成功の理由は、フランス語の魅力にもあるのではないかと私は思います。

しかし、フランス語でプレゼンテーションを行ったのは一体なぜなのでしょう。それはやはり、フランス語が英語と並んでオリンピック公用語であるからです。近代

オリンピックの創立者がピエール・ド・クーベルタン男爵 (Pierre de COUBERTIN) というフランス人だったことはご存知でしょうか。歴史学者であり教育者であったクーベルタン男爵が、1892年、ソルボンヌ大学で近代オリンピックの開催を呼びかけたことをきっかけに、1896年にアテネオリンピックが



「近代オリンピックの父」
ピエール・ド・クーベルタン男爵

開催されました。「近代オリンピックの父」と呼ばれるクーベルタンの母国語への敬意と、フランス語が話せることが当時の教養人の証でもあったことから、それ以来フランス語がオリンピック第1公用語として使われています。

大会ごとの書類も通常、フランス語、英語、そして開催国語版の3種類が用意されます。

現在、フランス語を母国語とする人口が減っている中で、国際機関の公用語として広く使われることでフランス語の重要性は継続されています。

2020年、東京で開催されるオリンピックを機に、フランス語を学んでみませんか。

Let the Great Presentations in Argentina Inspire You!



国際学部名誉教授
Carol RINNERT

Although I personally have serious doubts about the truth of Mr. Abe's claims regarding the Fukushima situation, there is no doubt in anyone's mind that all the Japanese IOC presenters did an outstanding job of conveying their messages effectively to the audience in Argentina and around the world. I was particularly impressed with the way those talking in English managed to communicate their sincerity and strong enthusiasm to their listeners. They showed that one does not have to sound like a native speaker of a language to speak extremely persuasively. Of course, these speakers must have all benefited from expert coaching. Nevertheless, I think their performances should be a great inspiration to HCU students, who can learn from their success.

(p.2へ続く→)

ミニコラム 外国語に想う【42】

情報科学部長
情報科学研究科 教授
矢野 卓雄

Bier bitte.



若い頃、今でも気は若いつもりだが、当時のことから電子メールではなく、英語で書いた学術的な自己アピールの文書を封書で欧米の有名な先生方へ送り、研究の機会がないかを問い合わせていた。当方が得意な微生物培養技術を応用して、将来盛んになるであろう動物細胞の培養技術を高めることが目的であった。やっと、スイスのチューリッヒ（ここではドイツ語圏）にあるスイス工科大学で1年間研究できることとなった。

チューリッヒの空港まで研究室の若い先生が迎えに来てくれ、確保していただいたアパートまで車で送ってくれたので、ここまでは英語で何とかだった。問題はこれからだった。さっそく近くのスーパーへ日用品の買い出しに出かけたが、ほとんどの物がドイツ語表記。

店員さんに尋ねるも英語が通じない。ましてや当方はドイツ語が話せない。（学生時代はドイツ語の単位もいただいたし、大学院入試のドイツ語もなんとかこなしたが。）某TV番組でやっていた「初めてのお使い」よりももっと困った状態であった。そしてその夜から、日常生活に必要なドイツ語会話の勉強を始めた。一番最初に身に付いたドイツ語が「Bier bitte. ビールを下さい。」であった。いかにも当方らしい。

学生諸君、どんどん海外へ行って、見識を深めて欲しいと思うが、英語が通じないことがあることも体験して欲しい。その体験がきっと諸君の語学力向上の動機付けになると思う。

2013 年度前期 知のトライアスロン映画上映会開催！！ 世界のアニメがやって来た！

6月24日(月)～6月28日(金)に、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。今回は、国際学部のUlrike Wöhr先生にご協力頂き、「多文化共生入門」との連携企画で行いました。また、国際学部の飯島典子先生、国際学研究科1年の韓国人留学生李多英さんには映画の解説をして頂き、いつになく大盛況な上映会となりました！後期の上映会は、国際学部のChristian Le Dimna先生にご協力頂き、「言語・コミュニケーション研究入門」との連携企画で開催予定です。詳細は未定ですが、決まり次第掲示やHPで紹介しますね。次回もお楽しみに！



飯島先生解説の様子

テーマ：大人も感動！世界のアニメーション特集 🍀

映画解説：6月24日(月) 13:00～14:40 李多英さん 「Green Days 大切な日の夢」(韓国)

6月26日(水) 13:00～14:40 飯島典子先生 「春田花花幼稚園 マクダルとマクマグ」(香港)

その他上映映画：「ウォレスとグルミット 3クラッキングアドベンチャー」(英)、「ファンタスティック Mr.Fox」(英・米)、「雪の女王」(ロシア)、「夜のほとりの物語」(フランス) *番外編:「愛より強く」(ドイツ)



李さん解説の様子

(→ p.1 から続く)

As I see it, the two most important factors underlying their successful speeches were the strong content and the effective connection with the audience. The key to the strong content was the inclusion of powerful, specific details, such as the moving, personal stories of some of the speakers, the large numbers cited (e.g., of young people in Asia and of billions of dollars earmarked for the Olympics in Tokyo), and the pictures provided to illustrate many of the points. The keys to the connection with the audience included the direct eye contact (nobody was reading their speech), the focus on getting the meaning of the message across to the listeners, and the natural-appearing body language (smiling and gestures), as well as the slow, clear way of speaking without shouting or distorting

the pronunciation.

I hope that HCU students, especially those taking my English debating skills class, will be able to incorporate these strategies into their own presentations. Here is some advice that may prove helpful: Choose a topic you care about; support your ideas with specific evidence (examples and statistics); establish and keep eye contact with your audience; concentrate on the meaning of your message while you're speaking (don't let yourself get distracted by thinking about the impression you are making); and practice many times in front of a mirror and/or friends so your body language looks and feels natural.



バスに乗られてスバラしき

平田俊子のコンサートへボウ

大井健地 (名誉教授・芸術資料館もと館長)

学生の時と、会社員として勤めはじめてまもなくの頃は、詩の雑誌に毎月、目を通すことをしていた。しかし今はもう、その習慣をなくして久しい。その僕が某図書館の開架の書棚で、薄い、軽やかな現代詩入門の本に目が止まった。小池昌代他編著『やさしい現代詩』三省堂2007年、というアンソロジー。自作朗読CD付きだ。現代日本の現役詩人としてどんな人が活躍し、どんな詩作品が評価されているのか、詩壇または詩ジャーナリズム状況をちょっとは知っておきたい俗な関心でめくったまでだったが、掘り出し物に出会った。

それが平田俊子《宝物》。

私だけが聞いた
あのと
あなたの
柔らかな
声

附録CDで早速聞いた、独白調で小さくためらいがちにつぶやく作者の声。この詩の冒頭1行は、

世界で一番美しい言葉はコンサートへボウです

というのです。僕は(ナンデ? そんな身勝手な断定アリ?)と、いぶかりながら読むのです。「あれは何? と尋ねると/コンサートへボウとあなたは答えた」「あなたの声がとてもきれいで/以来この言葉は私の宝物になった」というわけ。

コン畜生のでくのボウと悪態をつくかわりに「コンサートへボウ」と口ずさむとよい気分。和三盆糖のべっ甲飴の玉の味覚とか、新緑の梢を吹きわたる薫風の香とか。

別の図書館で詩集『宝物』書肆山田2007年、

を発見、即座に全編読了。みっちり充実の詩の宝函みたい。装幀(菊池信義)もとてもきれい。収録の他の詩、たとえば《皿》を参照すると、宝物だった言葉からは未発の不倫を想像させる匂いがするようでもあることに気づいた(その後、僕は『ピアノ・サンド』『二人乗り』『さよなら、日だまり』という平田俊子小説の離婚話、痴情話をどっさり読んじまった)。

一番美しい言葉は当然甘くて苦いのだ。アムステルダム(街角、ゴッホ美術館の南にある、音楽通の観光客には知られているコンサートホール。それがオランダ語ではコンサートへボウなのだ。

詩はいいですよ。なにしろ長くないから、すぐ読める。



暗い気持ちもチンするといよいよ
すっきりさっぱり
おいしくなるよ

とあるのは《レンジの力》(初出、中国新聞2002年6月24日)。「やほほい やほほい」という掛け声つきの詩だ。

もうひとつ、《うらら》(初出、朝日新聞2005年3月18日夕刊)から、行をつめて3連分、引用します。

歯医者にも春は楽しい
歯医者になっても春は楽しい
バスに乗っても春は楽しい
バスに乗られても春は楽しい
好きな人が逃げて春は楽しい
楽しくなくても春は楽しい!

エッ?とのけぞる詩句も楽しく、頓着して無頓着にノンシャランに人に活気を与える詩の偉力に感服。

平田俊子は傑物です。

現在ハワイ大学留学中！ 国際学部 3 年生 今井菜奈さん 在学生へ送る “TOEFL 勉強法・留学生活” メッセージ



5月22日(水)3時限目に、国際学部3年生今井菜奈さんが、ニューヨークで参加したインターンシップの報告とTOEFL試験対策についてのプレゼンテーションを行いました。今井さんは、3月にニューヨークの国連本部で行われた「女性の地位委員会」に参加し、インターン生として活躍しました。また、8月からは本学の提携校であるハワイ大学マノア校に交換留学生として、約5か月間派遣されています。ハワイ大学に派遣されるためには、TOEFLの受験も必要のため、英語漬けの毎日を送っていたという今井さん。今まさにハワイに留学中の彼女に、国連インターン、TOEFL受験、ハワイ大学での生活など、生の声を届けていただきました。これから留学を考えている学生には特に必見です。

国際学部 3 年生 今井 菜奈

◆国連でのインターン

2013年3月、NGO、BPW Japan* インターンの一員として、ニューヨークの国連で開催されるCSW** に行ってきました。CSWは経済社会理事会に帰属し、毎年、議席を持つ政府が女性に関する課題を議論します。世界中から集まったNGOの役割は、合意結論に市民の意見を盛り込むよう政府に交渉すること、ワークショップやイベントを開催し世界の女性の現状について報告・啓発を行うことです。NGOのイベントで、ロシア郊外における強制結婚やインドの家庭内暴力、ルワンダの大虐殺後に起こった少女への強姦などについて当事者として話してくれる女性の言葉には迫力がありました。その他CSWの傍聴やBPWのイベント補助、国連大使との夕食会などを通して途上国の人々の力強さやイベント開催の難しさなどを感じると同時に、このインターンは自分自身の将来の生き方について考える場ともなり、貴重な体験ができたと思っています。

◆ TOEFL への取り組み

高校生の頃から大学留学を夢に見ていたのにもかかわらずTOEFLに引け目を感じてしまった私は、半ばハワイ大学への留学を諦めていました。語学学校への留学説明会にも行きましたが、母に相談すると「交換留学じゃないとウチは無理よ！」とあっさり喝を入れられ、TOEFLに向けて猛勉強を決意。勉強への取り組みが最終締め切りの3、4か月前だったので、所属していた部活もお休みさせてもらい、TOEFLの受験を5回分申し込み、時間的にも精神的にも後には引けない環境にしました。洗濯や洗いをしながらリスニングやディクテーションをしたりと、時間さえあれば英語の勉強をしました。12月までに目標点に達さなければ一学期留学ができなくなるかも、という焦りと、友達とも遊びに行けないこんな生活を早く終わらせたい、という思いから、最後の試験でぎりぎり目標点に達しました。

◆留学生活

ハワイに来てほぼ2か月が経ちましたが、毎日充実した日々を送っています。アメリカの文化なのか何かとパーティーが多いので、友達ができる機会はたくさんあります。授業については、英語のクラスを除いて3つのクラスを履修しているので、1週間で150～300ページ程度のリーディングがあります。到底完璧にこなすことはできませんが、最近は少し要領を掴み始めている気がします。授業も大事ですが、特に他の留学生に比べて英語が劣っている私にとっては留学生とコミュニケーションをとる時間も大切だと痛感しています。もともとアウトドアな性格なためか、誰とも喋ることなく勉強すればするほどみんなと出かけたくなります。これはTOEFLの勉強をしているときにも思いましたが、目標地点まで頑張り続けるためには、時々健康にも気を配りつつ、一人で勉強する時間、友達と楽しむ時間のバランスを取ることが何より大事だと思っています。

◆これから留学を考えているみんなへ

留学するとたくさんの方が学べます。ハワイという地が人気なためか、ヨーロッパやアメリカ本土からの学生を含め、世界各地からの留学生がたくさんいます。英語はできて当たり前の環境で、第3言語を話す友達もおり、海外で働こうと思ったらこの人たちがライバルになるのか…と考えさせられました。英語の上達に繋がるだけではなく、国を超えた友達とじっくり話をする事で価値観が広がったりと、刺激的でたくさんの方を感じられるハワイ大学に来てよかったなと思っています。

もちろん交換留学だけが海外に出ていく方法ではないと思います。語学留学や編入、インターンシップ、ボランティアプログラム、仕事など、様々な形でハワイに来ている人に出会いますが、みんな充実した日々を過ごしているように見えます。みなさんが選んだ方法で、素敵な海外生活を体験できるといいですね。

*BPW Japan: National Federation of Business and Professional Women's Club of Japan
**CSW: Commission on the Status of Women

視察・オープンキャンパス等報告

- 6月5日 広島市立安西中学校 (180名)
- 6月6日 高等学校進路指導担当教員対象説明会 (22名)
- 6月18日 鈴峯女子高等学校 (54名)
- 6月20日 広島県立安芸南高等学校 (22名)
- 6月21日 安田女子大学 (教員1名)
- 6月23日 プレ・オープンキャンパス (48名)
- 7月2日 広島県立海田高等学校PTA (33名)
- 7月12日 広島県立安芸府中高等学校 (26名)
- 7月23日 広島県立井口高等学校 (40名)
- 8月4日 オープンキャンパス (185名)
- 10月4日 広島県立安芸高等学校 (19名)
- 10月17日 高水学園高水高等学校PTA (30名)



◎オープンキャンパス◎
「外国語へのいざない」
シュトラフ先生の講義の様子
(ロシア語)

市大英語 e ラーニング講座開催 (平成 25 年度第 1 期)

昨年同様、市民を対象とした英語のeラーニング講座が7月28日～9月29日に、語学センターを含む市内4か所の施設で開講されました。

現在は、10月6日に開設した広島市立大学サテライトキャンパス会場を含む市内4か所で、第2期の講座が開講されています。(12月末まで)

この講座に興味のある方は、語学センター



受講後 TOEIC の様子

にお問い合わせください。

発行日	2013年10月23日
発行	広島市立大学語学センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1
編集	堀本真由美 伊達美和子 (内線: 6410)
Phone	(082)830-1509
Fax	(082)830-1794
E-mail	lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp
ホームページ	http://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/

